

## IT パスポート試験 生成 AI に関するサンプル問題

問1 生成 AI の特徴を踏まえて、システム開発に生成 AI を活用する事例はどれか。

- ア 開発環境から別の環境へのプログラムのリリースや定義済みのテストプログラムの実行、テスト結果の出力などの一連の処理を生成 AI に自動実行させる。
- イ システム要件を与えずに、GUI 上の設定や簡易な数式を示すことによって、システム全体を生成 AI に開発させる。
- ウ 対象業務や出力形式などを自然言語で指示し、その指示に基づいて E-R 図やシステムの処理フローなどの図を描画するコードを生成 AI に出力させる。
- エ プログラムが動作するのに必要な性能条件をクラウドサービス上で選択して、プログラムが動作する複数台のサーバを生成 AI に構築させる。

問2 生成 AI が、学習データの誤りや不足などによって、事実とは異なる情報や無関係な情報を、もっともらしい情報として生成する事象を指す用語として、最も適切なものはどれか。

- ア アノテーション
- イ ディープフェイク
- ウ バイアス
- エ ハルシネーション

問3 AI における基盤モデルの特徴として、最も適切なものはどれか。

- ア “A ならば B である” といったルールを大量に学習しておき、それらのルールに基づいた演繹的な判断の結果を応答する。
- イ 機械学習用の画像データに、何を表しているかを識別できるように “犬” や “猫” などの情報を注釈として付与した学習データを作成し、事前学習に用いる。
- ウ 広範囲かつ大量のデータを事前学習しておき、その後の学習を通じて微調整を行うことによって、質問応答や画像識別など、幅広い用途に適応できる。
- エ 大量のデータの中から、想定値より大きく外れている例外データだけを学習させることによって、予測の精度をさらに高めることができる。

IT パスポート試験 生成 AI に関するサンプル問題 解答例・出題趣旨

問番号	正解
問 1	ウ
問 2	エ
問 3	ウ

問番号	出題趣旨
問 1	従来は IT 技術者などの専門知識を有する人が作成していた文書や画像などの業務上のコンテンツの生成を、生成 AI を活用することによって、IT を利活用する人も担うことが可能になりつつある。本問では、システム開発における、生成 AI の特徴を踏まえた活用事例の知識を問う。
問 2	AI の著しい進歩によって登場した生成 AI は、国民生活や企業活動に大きな影響を与えている。一方、生成 AI が作り出した“もっともらしいウソ”によって、社会を混乱させるリスクも指摘されている。本問では、このような生成 AI の特性や留意事項に関する知識を問う。
問 3	生成 AI がどのような技術、仕組みで実現されているかを理解することは、IT を利活用する人が IT 技術者とコミュニケーションする上で有用である。生成 AI は、その多くが基盤モデルを基にして実現されていることから、本問では、基盤モデルに関する知識を問う。